

## 産業建設委員会会議録

1 日 時 令和7年12月12日（金曜日）

開会 午前11時45分

閉会 午後 0時18分

2 場 所 第1委員会室

3 出席又は欠席した委員の氏名

(出 席)	委員長 加 藤 保 博	副委員長 太 田 善 介
	委 員 大 月 真 一	委 員 溝 手 宣 良
	委 員 三 宅 啓 介	委 員 深 見 昌 宏
	委 員 津 神 謙太郎	
(欠 席)	なし	
(その他出席者)	なし	

4 職務のため出席した議会事務局職員の職氏名

議会事務局長	小 原 純	同主幹	関 藤 克 城
同主幹	岩 佐 知 美		

5 説明のため出席した者の職氏名

副市長	中 島 邦 夫	政策監	難 波 敏 文
総合政策部長	入 野 史 也	政策調整課長	林 啓 二 里
総務部長	内 田 和 弘	財政課長	岡 真 輝
産業部長	西 川 茂	農林課長	中 山 知 哉
農林課主幹	村 上 敏 行	観光プロジェクト課長	赤 木 郁

6 報告事項及びその結果

報告事項

(1) そうじやのお米支援補助金について

7 議事経過の概要 別紙のとおり

8 その他必要な事項 別紙のとおり

## 開会 午前11時45分

○加藤保博委員長 ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席は7名全員であります。

これより、所管事務調査を行います。

それでは、報告事項(1)そうじやのお米支援補助金について、当局の報告を願います。

農林課長。

○中山知輝農林課長 それでは、そうじやのお米支援補助金につきまして御報告をさせていただきます。

先日の議会一般質問の際に、西川産業部長がそうじや地食べ公社における令和3年度から令和6年度の補助金の充当先等について御説明をさせていただいておりますものにつきまして、改めて資料として御報告させていただくものでございます。

令和6年度の決算の御報告の際には、総務省の指定取消しを受ける前の調査期間中でございましたので、いわゆるふるさと納税の米の調達費に当たる部分について慎重に精査をさせていただいたということもありまして、明確な御回答ができず、また時間を要してしまったことにつきましてはおわびのほうを申し上げます。

それでは、資料1を御覧ください。

まず、令和6年度でございますが、補助金額1億4,620万5,350円につきましては、そうじや地食べ公社赤字部分に1億3,808万3,653円を充当しております、内訳は地産地消事業111万7,816円、生産物販売事業1,098万699円、農作業受託事業302万9,948円、ふるさと納税事業1億1,578万5,605円、うち調達費用赤字部分につきましては8,510万4,028円となっております。法人会計717万2,947円となっております。

続きまして、資料2を御覧ください。

こちらにつきましては、令和3年度から令和5年度につきまして記載をさせていただいております。

令和3年度は、補助金1,955万7,000円をそうじや地食べ公社赤字部分5,568万3,879円の一部として充当、内訳といたしましては研究開発事業110万6,758円、研修生受入事業110万6,753円、農地利用集積化事業370万1,048円、地産地消事業2,552万1,439円、生産物販売事業575万5,090円、農作業受託事業192万3,480円、ふるさと納税事業1,390万6,030円、法人会計266万3,281円となっております。

令和4年度は、補助金2,733万3,440円をそうじや地食べ公社赤字部分2,280万5,033円へ充当、内訳といたしましては研究開発事業85万3,554円、研修生受入事業85万3,551円、農地利用集積化事業686万234円、地産地消事業1,852万8,105円、生産物販売事業592万8,350円、農作業受託事業78万2,415円、法人会計86万2,659円。

令和5年度につきましては、補助金3,199万9,890円をそうじや地食べ公社赤字額3,071万844円へ

充当、内訳といたしましては農地利用集積化事業126万5,606円、地産地消事業1,021万1,029円、生産物販売事業493万6,137円、農作業委託事業254万4,007円、ふるさと納税事業913万79円、法人会計262万3,986円となっております。

以上でございます。

○加藤保博委員長 ではこれより、質疑に入りますが、質疑はありませんか。

大月委員。

○大月真一委員 すみません、ちょっとお伺いしますけれども、そうじや地食べ公社の評価として、基本的には各事業における採算の状況だけで見られるとは思うんですけど、基本的にその販売とか、作業受託とか、そういうふうなところの部分は採算の状況で評価されるべきかとは思いますけれども、例えば研究開発とか、研修生の受入れとか、その辺を採算評価というのはどういうふうなことなのかなと思ったりもするんですけども、いずれにしてもこれだけずっと赤字が続いている事業というのが、令和3年から続いているってというふうなことで、今でもそういうことを問題視されるとわけですけれども、この採算改善に向けての動き、これ前回の委員会のときにも、今後の採算改善の状況の計画についての話でもあったと思いますけれども、ちょっとその辺の部分の今の進捗状況とか今後の見通しについて教えていただけたらと思うんですけども、基本的に来年度改善していくこうとしたときには、これ前にも申し上げましたけれども、もう早い段階で計画をつくって、それを実行していくと、もうプランは出来上がつたって、4月から「D o」の部分に入っていく必要があると思うんですけど、その辺はどうなんかなと思いました、ちょっとお伺いいたします。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 確かに非常に赤字の事業が多くなってございまして、その点につきましては、今回の件もございましてそうじや地食べ公社のほうで改善に向けた取組というところで、今専門家を入れて協議をしていただいておるということは前回御報告をさせていただいたところでございます。実際その会議ももう数度開かれておるとお聞きしております、その中で改善計画に向けた分析ということが今進められておるというふうに伺っておるところでございます。

これを受けて、ちょっと我々もできるだけ早めな状況把握、今でも一定の部分は把握しておるところなんですけれども、進めながら、当然当初予算の時期には間に合うような形で、どういった形で公社を支援していくか、またその改革をどういったところで評価して、そこに先ほど言った支援を充てていくかというところを、また御相談させていただきながら取り組んでいきたいというふうに考えておるところでございます。

○加藤保博委員長 大月委員。

○大月真一委員 分かりました。基本的には改善に向けて動きを着実に行っておられるというふうな形で理解いたしましたので、その辺今後ともどうぞよろしくお願いします。

以上です。

○加藤保博委員長 他に質疑はありませんか。

溝手委員。

○溝手宣良委員 すみません、資料1について、合計金額が間違っていましたというて新たに訂正されたものが提出されたんですけど、その間違いはどうやって起きたんですか。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 この点につきましては申し訳ありません。ちょっとこちらの確認不足でございました。申し訳ありませんでした。

○加藤保博委員長 溝手委員。

○溝手宣良委員 いやいや、どうやって間違いが起きたんですか。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 こちらにつきましては、積算するときのもう本当にケアレスミスといいますか、足し算の間違いというところでございます。

○加藤保博委員長 溝手委員。

○溝手宣良委員 すみません、今ふるさと納税について大々的な報道もあって、いろいろな動きがある中、今住民監査請求もされてる中でその計算ミスが起きましたか。危機感が足りないと単純に思うんですが、これは要は農林課が今ここに提出してくる段階で間違えたのか、それともそういう地食べ公社が出てくる時点で間違えていたのか、そもそもエクセルに当てはめて、そういう間違える可能性はないんだというふうに思うんですが、どのような事務をされていらっしゃるんでしょうね。ちょっとあり得ない計算ミスかなと思ったんで、ちょっと教えてください、もう一度。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 すみません、誠にこういった時期にそういう間違いを起こしてしまって、本当に御迷惑をおかけしておりますし、こういうことがないように気をつけてまいりたいというふうに思います。申し訳ありませんでした。

○加藤保博委員長 溝手委員。

○溝手宣良委員 いや、なのでせめてそういう地食べ公社が出てきた金額が間違えてたのか、これを表にまとめた農林課で間違えたのか、どこの段階で誰が間違えていたのかぐらいは教えていただきたいんですが。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 この表にまとめるときに農林課の中で間違えておりました。申し訳ありません。

○加藤保博委員長 溝手委員。

○溝手宣良委員 表にまとめる段階で農林課で間違えたということで、じゃあ間違いをしてしまったのは農林課であると。すみません、間違えるということは人間なので当然あって、ミスを殊さら追求するつもりはないんですが、そういう表にまとめてくることも、じゃあそういう地食べ公社

ではできないということでよろしいですか。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 こちらにつきましては、所管事務調査で御報告をさせていただくのに表組みのほうをちょっとこちらで整理させていただいたというところでございまして、その際に本当に委員御指摘のとおり、もうこういう間違いがあってはいけないんですけれども、ミスを犯してしまったというところでございます。申し訳ありません。

○加藤保博委員長 溝手委員。

○溝手宣良委員 承知をしました。繰り返しますが、ミスをしてしまったことを追求するつもりも責めるつもりもなくて、そりやあミスは誰でもあることで、承知をいたしました。

ただ、この資料2のほうでも過去3年間、令和3年度からの決算状況というのがありますとおり、これ全て赤字、全てといつたら語弊があります。一部赤字じゃないところも時にありますので、全てが赤字ではないんですが、ほぼ赤字であるよといった中で、この事業の改善を今までこのそうじや地食べ公社というのは図ってきた形跡があるんですかね。それを農林課なのかどうか分かりませんけど、これを改善を図ろうとさせるようなところはなかったんですか。補助金をもうただひたすら出してきたということなんですが、補助金がそもそも頼みの綱じゃないですか。補助金がなかったら、もう全く成り立っていない事業ばかりなんですけど、これをこのまま、今まで農林課としては知り得て、ずっと補助金を出してくださいというふうな流れであったのでしょうか。監督をするべきではなかったのでしょうかというのが質問です。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 もう厳しい経営状況の中、運営してきたというところは、まさにそういったところでのより収益性を高めるというところでの助言といいますか、そういったところでの取組がもっとできればよかったのかなというふうに反省しておるところでございます。

ただ、全体的に公益事業等を行っておる中で、やはり全て収益をプラスで、黒字にしていくというところはなかなか厳しい部分もございますが、そのような中で生産物販売としてセロリやトウモロコシの特産化であるとか、その収益化、また一時苗販売とか行って、かなりの収益化を進めた事業等もございました。そういう改革も行いながら歩んできたわけではございますけれども、なかなか全てが全部黒字になっているというようなところまでは達していない、またそこまでの効果をちょっと発現させることができなかつたということでございまして、先ほど御質問にもありましたが、改革をするということで本当に専門家のお知恵もかりながら、どこをどう直して改善していくかということは話をさせていただいておりますので、今いただいた御意見も含めながら、改革に向けて市としてもできる助言であるとか協力、そういったところも含めて取り組んでいかせていただきたいというふうに思います。

以上です。

○加藤保博委員長 溝手委員。

○溝手宣良委員 今、農林課長の答弁の最後のあたりにありましたけれど、できる助言とかはしていきたいということだったんですけど、結局これ市としてどの程度関われるんですか。要は経営の改善をしないと、どう考えてもこれ立ち行かないというふうに思うんですが、でも別の組織ですね。一般財団法人そうじや地食べ公社ですよね。これにどれだけ、じゃあ経営に口出し、私も先ほど監督というふうなことは言いましたけど、できるのか、助言をする程度で言うことを聞いてくれる聞いてくれないは、結局向こうなんだと思うんですけど、この経営の改善がなされなかつたとき、そのようなものがこうやって経営を改善しますよというものがそうじや地食べ公社から示されなかつた場合に、それでも助言を続けて関係性を保って、何らかの補助金を打っていくのでしょうか、そのあたりをちょっと教えてください。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 どこまで介入していくかというような御意見かと思いますが、本当にこのたびのことを受け、どの部分、広域事業として農地の利用集積でありますとか学校給食、あと特産品の販売とかスーパー販売、これ大きく市の施策とも連携しながらやっていただいておるところでございます。この部分の赤字の規模がどれぐらいか、それこそやっぱり人件費がメインなものになってこようかと思いますけれども、そういったところもちょっと今専門家のお知恵をかりながら精査をさせていただいております。

また、生産物販売、セロリやトウモロコシの生産であるとか、そういったところについては、まさにそうじや地食べ公社の収益事業の部分でもありますので、そういったところをいかにさらに可能性を伸ばしていけるのか、それとも一方でそういうのは難しいのかというところも含めて、今いろんな御助言をいただきながらやっているところでございますので、そういった中で市の施策との関連具合とか、そういったところについてはしっかりとこちらとしてもお話を伺ったり、お願いするところ、連携するところにつきましては、役割分担を含めてお話をしながら、適切な補助となるような形で、補助というか適切な支援ができるような形に、また御説明できるような状況にさせていただきたいというふうに考えておるところでございます。

○加藤保博委員長 溝手委員。

○溝手宣良委員 適切というのが何をもって適切とするかというのが非常に意見の分かれるところのかなというふうには思います。なので、今じゃあ具体的にはどういった見直しをするかというのは、農林課としては意見を持ち合わせていないということでいいですか。あくまで専門家に委ねておって、総社市の事業とリンクする、リンクするものがほとんどですけれど、例えばもう具体的にこれはやめたほうがいいんじゃないかとか、そういったことも持ち合わせてはいない、検討もしていないということでいいですか。

○加藤保博委員長 産業部長。

○西川 茂産業部長 すみません、溝手委員のご質問ですが、いや、そうじや小学校カレーの問題とかもあるかと思いますので、決して関わってないわけではなくて、今相談の中にも入って一緒に

考えていく状況でございます。だから、そうじや小学校カレーについても採算性があるのかないのかというのは、やっぱりちょっと今までの決算の内容であるとか、そういう細かいところになりますんで、そういうところの分析を税理士、それから経営診断士にお願いをしてやっていただいている状況になるかと思います。そこへ市ももちろん相談に乗りながら、どういうふうに改善していくかというのを一緒に考えていくようになるかと思います。

おっしゃられるように、ふるさと納税、令和3年度以前は補助金は一応なかったわけですので、そういったところの収入のお話であるとか、すぐにプラスになっていくわけではないかもしれないんですけど、複数年でプラスに持っていくような計画を今つくって、そうじや地食べ公社側で理事長も替わられましたので、積極的に参加していただいて、そこの指揮を執っていただいているような状況です。

○加藤保博委員長 溝手委員。

○溝手宣良委員 補助金ありきで経営をしているから、事業がそれぞれ甘いんじゃないかというような指摘をされる方が多くいらっしゃるのも事実です。その多くというところにも、またそれが何人おったら多くのかみたいな議論はありますけど、そういった意見があるのも事実と思います。いずれにしても、部長が今カレーのことにも言及されました、華麗なる転身を図っていただきたいというふうに思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○加藤保博委員長 産業部長。

○西川 茂産業部長 一生懸命、市としても関わって、いい方向に向かえるように努力していくたいと思います。

○加藤保博委員長 よろしいですか。

深見委員。

○深見昌宏委員 要は市とそうじや地食べ公社がどうやって関わって、これ今話をする話じゃない、今後の話なんですよ。ほんで、報告でこの数字を報告いただいて、そうじや地食べ公社側から出てくる数字というのはそうじや地食べ公社の中で、多分理事会、評議委員会があると思うんですけど、監査があって、その組織の中でこういう数字はきっちり農林課に対して出てきてるということでおろしいですかね。

○加藤保博委員長 農林課長。

○中山知輝農林課長 そうじや地食べ公社も組織としては、先ほどおっしゃられたような理事会、評議委員会、当然その中で幹事の監査というのもございまして、法人としての会計報告を受けて、我々はこういう資料を作らせていただいておるというところでございます。また、そうじや地食べ公社の決算につきましては、各委員の皆様にも毎年6月ぐらいに御報告をさせていただいておるというところでございます。

以上です。

○加藤保博委員長 深見委員。

○深見昌宏委員 すみません、報告なんでこれ以上突っ込みませんけど、今後先ほど溝手委員が言われよったようなことも含めて、以前、そうじや地食べ公社って農林課と、こんな言い方したらおえんのんかもしれんけど、結構ずぶずぶの関係みたいな格好で、そうじや地食べ公社のことに対して我々議会側はブラックボックス化されるとるような、今までの流れの中で質問も多分、僕、産業建設委員会今回が初めてなんですけど、産業建設委員会、今までずっとあった中でそうじや地食べ公社の話というのは多分議事録にもほとんど残っていないようなことだと思うんです。今後明らかにしていかんといけんというのは、今こうやって住民監査も入って、そうじや地食べ公社と総社市がどういうふうな絡みを持っていくか、農業政策のことも含めてというようなことは今後話をしていくんといけんと思うんで、今日はこの報告を受けたということでおろしいんで、そういう話を今後詳しく聞かせていただくようになるかもしれませんけど、そういうことでよろしいですかね。今日じゃないですよ。

○加藤保博委員長 産業部長。

○西川 茂産業部長 私どももそうじや地食べ公社の会計の細かいところまでは分かりませんので、今までですね。そうじや地食べ公社のほうは、税理士がこういうこともやられてるということで報告を受けてたような状況ではございますので、今後そういうことも含めて、今回の赤字の問題も含めて改善を図っていく上で、総社市の農業にとって重要なポジションになるかと思いますので、御相談させていただきながら、今の改善の状況もお伝えしながらやっていけたらというふうに思っております。

(「分かりました。ありがとうございます」と呼ぶ者あり)

○加藤保博委員長 大月委員。

○大月真一委員 先ほどのお話もありましたけれども、やはりこれ、今のこの事業が非常に注目的でありますし、当然市民感情もあるでしょうから、今言う改善の状況を逐一、逐一というか定期的なオープンにした形で情報展開が必要だと思いますんで、そういう仕組みのところの部分も検討していただく必要があるかなと思いますんで、よろしくお願ひしますということでございます。

○加藤保博委員長 産業部長。

○西川 茂産業部長 ありがとうございます。

私どもも悩むところがございますので、そういう御意見もいただきながらやっていきたいと思っております。

以上です。

○加藤保博委員長 他に質疑はありませんか。

(「ちょっと質問があるんで、当局に対してじゃなくて。ちょっと休憩挟んで確認したいことがあるんで」と呼ぶ者あり)

○加藤保博委員長 では、休憩いたします。

休憩 午後0時11分

再開 午後 0 時17分

○加藤保博委員長 では、休憩を閉じて会議を開きますが、他に質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○加藤保博委員長 これをもって、質疑を終結いたします。

本件については、報告を受けたということにいたします。

以上をもちまして、本日の報告事項は全て終了いたしました。

これをもちまして、本委員会を閉会いたします。

閉会 午後 0 時18分